

市民モニターアンケート結果 活用状況

担当部署	健康づくり課
アンケート名	食育
アンケート実施期間	令和4年7月15日～7月25日実施

アンケート活用状況

市民モニターの方々に食行動等について調査し、現状把握を行い、今後の食育の推進に関する施策等へ反映させるために実施しました。また、第二次倉敷市食育推進計画の10の指標のうち以下の4指標については、平成27年度の中間評価を経て平成28年度から市民モニターの調査結果が目標値の基準値となっており、この結果は計画の評価に活用しております。令和5年度は、計画の最終評価の年であり、添付資料(第二次倉敷市食育推進計画令和4年度実施事業評価報告 令和5年度実施事業計画冊子、食育推進会議用資料からの抜粋)をもとに、以下の指標の最終評価を行いました。

- ・「自分で料理をすることができる人の割合」
- ・「調理前の手洗いを実践している人の割合」
- ・「食品の廃棄を少なくするように気をつけている人の割合」
- ・「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べている人の割合」

中間評価時(H27)と比べて、「自分で料理をすることができる人」は5%増加し、「調理前の手洗を実践している人」は3.3%増加するなど改善傾向がみられました。特に「自分で料理をすることができる人」は、食育に関する他の項目ともよい関連が見られたことから、今後も継続してみたい指標と考えています。

また、「食品の廃棄を少なくするよう気をつけている人」も中間評価時と比べて4.8%増加し、改善しているものの、倉敷市は家庭からの食品ロス発生が多いことから、今後も継続して取り組む必要があると考えます。

一方で、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べている人」は、継続した取り組みを行っているにもかかわらず、中間評価と比べて5.4%減少し、悪化傾向が見られました。今後は、社会背景の変化や食の外部化の進展等を踏まえた効果的な取り組みを検討する必要があります。

最終評価からみえた課題を整理し、次期計画策定に向けて検討を行い、今後も、アンケート結果から見えてきた倉敷市の現状を把握しながら、食を通じた健康づくりの啓発を強化していきたいと思えます。